

=====  
地域循環共生圏メールマガジン Vol.33

[2021.11.8]

- 『第7回 寺子屋ローカルSDGs』開講のご案内～テーマは東近江での資金循環～
- 地域循環共生圏・なうっ！
- 第16回企業版ふるさと納税分科会『企業と地方公共団体とのマッチング会』のご案内
- シンポジウム『グリーン×デジタルが先導する豊かな地域循環共生圏づくり』開催のご案内
- ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」開催のご案内
- 連続セミナー開催します！～地域循環共生圏（ローカルSDGs）創造に向けて～

=====  
■ 『第7回 寺子屋ローカルSDGs』開講のご案内～テーマは東近江での資金循環～

地域活動を進める中で多くの方が直面するのが資金調達の課題。その中でも、東近江では、地域の人たちからお金を集めて地域活動を進めています。

第7回「学び編」では、公益財団法人 東近江三方よし基金の山口さんを先生としてお招きし、東近江の事例を元に、なぜSIB（ソーシャルインパクトボンド）を資金調達手段として選択したのか、導入するまでの壁として何があったのか、導入を経て市民の意識がどのように変わったのか、についてお話しいただきます。

特に、資金調達に課題を持っている方、どんな選択が良いか迷っている方や、地域の課題に対して市民の方に当事者意識をどのように持ってもらうか、課題を持っている方にはヒントがたくさん得られると思います。ローカルファイナンスの実践者として有名な山口さんのお話を伺い、質問・交流できるこの機会はとても貴重です！ぜひご参加ください！

【日 時】令和3年11月15日（月）18:00～19:00

（終了後も質問等で最大延長 19:30 まで予定しております）

【場 所】オンライン開催（Zoom 使用予定）

【登壇者】公益財団法人 東近江三方よし基金 山口 美知子さん

【定 員】50名（予定）

【プログラム】

- ①講義等「地域の応援団が支える資金循環～SIBの実践事例から～」
- ②質疑応答

③ネットワーキング（任意参加）

【参加費】 無料

【申 込】 <https://forms.gle/6uQbSR2XjJ2t3Jrr5>

（氏名、ご所属、メールアドレスを専用フォームにご記入ください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。E-mail : [touroku@chiikijunkan.jp](mailto:touroku@chiikijunkan.jp)）

=====

#### ■ 地域循環共生圏・なうっ！

(1) 【企業等登録制度】 登録企業等が増えました  
現在、138 団体にご登録いただいております。  
脱炭素、サーキュラーエコノミー、観光ビジネス、防災など、前回配信時より新たに 11 事業者が登録されました。（令和 3 年 11 月 5 日時点）

株式会社パーツライン  
ユニオンエタニティ株式会社  
株式会社相談室  
株式会社中央環境  
株式会社放電精密加工研究所  
NPO 法人博多ミツバチプロジェクト  
株式会社二川工業製作所  
永和国土環境株式会社  
株式会社ジェイアール東日本企画  
日本発酵株式会社  
八女 LED'S チーム

登録事業者は下記ページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。

[http://chiikijunkan.env.go.jp/deau/kigyo\\_list/](http://chiikijunkan.env.go.jp/deau/kigyo_list/)

気になる事業者があれば事務局までお気軽にご相談・問合せください！

(2) 【実践地域等登録制度】【企業等登録制度】 登録情報更新の受付  
ご登録及びウェブサイト掲載がされてから情報の更新が必要でしたら、事務局あてにご連絡ください。

その際には、申請時にご提出いただいた様式の該当箇所を修正した書類のご提出をお願いいたします。変更した箇所が分かるようにしていただけると幸いです。

【登録制度事務局】 E-mail : touroku@chiikijunkan.jp (担当 : 小池、那花)

=====  
■第16回企業版ふるさと納税分科会『企業と地方公共団体とのマッチング会』のご案内

官民連携による地方創生の取組を推進するため、「企業と地方公共団体とのマッチング会」がオンラインにて開催されます。

企業版ふるさと納税は、地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除する仕組みです。特に、企業版ふるさと納税（人材派遣型）は、寄附とあわせて専門的知識・ノウハウを有する企業の人材を地方公共団体等へ派遣することを通じて、地方創生の一層の充実・強化を図る取組であり、全国で広がり始めています。企業版ふるさと納税（人材派遣型）は、「地域脱炭素ロードマップ」への掲載や本年8月には、九州電力(株)より熊本県へ脱炭素化推進事業に従事する人材が派遣されるなど、環境関係の施策と親和性の高いものと考えられています！

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催概要】

日時：令和3年11月18日（木）13:30～15:15

方法：オンライン開催（Zoom）

参加費：無料

プログラム：13:30 開会

13:35 内閣府制度説明等

13:50 地方公共団体によるプレゼンテーション（12 団体×3分）

14:25 休憩

14:30 地方公共団体によるプレゼンテーション（10 団体×3分）

15:00 寄附意向のある企業によるプレゼンテーション（最大3社×3分）

15:10 事務局からの事務連絡

15:15 閉会

詳細は、次の URL の開催案内をご確認ください。

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/portal/sdgs\\_bunkakai.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/portal/sdgs_bunkakai.html)

【当日のプレゼン例：環境保全関係】

- ・三重県 三重県食品提供システム（通称「みえ〜る」）事業
- ・熊本県湯前町 みらいのもり創造プロジェクト

【申込方法】

<https://forms.office.com/r/NMYezXatWM>

申込期限：令和3年11月16日（火）15:00まで

事前申込が必要となりますので、詳細は上記 URL をご確認ください。

【お問い合わせ先】

（内閣府事業受託事業者）

東武トップツアーズ株式会社 官公庁事業部 第2営業部

担当：藤田、井上、坂本、大嶋

TEL：03-5348-3500

MAIL：furusato\_kigyuu@tobutoptours.co.jp

=====

■シンポジウム『グリーン×デジタルが先導する豊かな地域循環共生圏づくり』開催のご案内

12月6日（月）に、環境省主催、国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）及び地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）共催のシンポジウムがオンライン開催されます！

グリーンとデジタルをキーワードに、地域が抱える課題に対し、どのような工夫で地域づくりを進めているのかを共有します。さらに、ICT等の科学技術を活用したコミュニケーションや行動変容にも着目しながら、これからの地域づくりにおけるパートナーシップのあり方について考えるシンポジウムです！

地域の魅力を活かしながら資源循環や自然共生に取り組むことで脱炭素も実現し、それぞれに相乗効果が得られる、つまり地域においてSDGsを達成する社会、地域循環共生圏の創造を目指すにはどうしたらよいか。この機会に改めて一緒に考えてみませんか？ぜひご参加をご検討ください。

申込方法及びプログラム等の詳細は、下記シンポジウムウェブサイトをご確認ください。

<https://ideacon.jp/press/211206.html>

【日 時】令和3年12月6日（月）14:00～16:30

【場 所】オンライン開催（Zoom ウェビナー）

【定 員】500名（事前申込先着順、参加費無料）

【プログラム】（予定）

- 開会挨拶 中井徳太郎氏（環境省環境事務次官）
- 基調講演 仁坂吉伸氏（和歌山県知事）
- 事例発表 I（地域・企業）

①正田英樹氏（株式会社 chaintope 代表取締役 CEO）

②調整中

○事例発表Ⅱ（研究機関）

①竹本明生氏（国際連合大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS) プログラムヘッド）

②今井弘二氏（国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)ソーシャルイノベーションユニット戦略的プログラムオフィスイノベーションプロデューサー）

○休憩：NICT が開発を進める体験共有システム（通称：「みなっぱ」）のデモンストレーション

○質疑応答 モデレーター：星野智子氏（一般社団法人環境パートナーシップ会議(EPC) 副代表理事）

○総括 武内和彦氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長／東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授／国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS) 上級客員教授）

=====

#### ■ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」開催のご案内

地球環境問題として、脱炭素や生物多様性ととも、SDGs のゴール6である「水」についても、企業活動との関係に対する市民や投資家の関心がかつてないほど高まっています。

これらの問題について企業はどう取り組めばよいのでしょうか。どのように様々なステークホルダーと対話すればよいのでしょうか。

「グッドプラクティス塾」は、ウォータープロジェクト参画企業が、新しい知見やそれぞれの取組の共有などを通じ、各社が『水で選ばれる』ことを目指す場です。

2021年度の第1回目は立命館アジア太平洋大学の平野実晴氏をお招きし、SDGs のゴール6「水」を切り口に、企業活動に関連づける使い方を伺います。また、一般社団法人 CDP Worldwide-Japan の榎堀都氏からは、CDP 水セキュリティ質問書と SDGs の関連性や活用の仕方などについて話題提供いただきます。

グッドプラクティス塾のチラシはこちらからご覧いただけます。

<http://www.env.go.jp/water/project/>

【日 時】令和3年11月10日（水）13:00～14:30

【場 所】オンライン開催（Zoom ウェビナー使用予定）

【プログラム】

- ① 講演「水×SDGs メソッド」平野 実晴氏
- ② 話題提供「CDPのSDGsへの貢献」榎堀 都氏
- ③ 質疑応答

【参加対象】ウォータープロジェクトに参画中、または参画を検討している企業、自治体、民間団体の方

【参加費】無料

【申込】

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_9T5mXuZHRuum7YSVfh13Lw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_9T5mXuZHRuum7YSVfh13Lw)

※イベント開始前まで申し込み可

【お問合せ】E-mail: [event@watercycle.jp](mailto:event@watercycle.jp)

=====

■連続セミナー開催します！～地域循環共生圏（ローカルSDGs）創造に向けて～

今年度、地域循環共生圏創造に向けた協働／共創をテーマとする連続セミナー（3回）をきんき環境館（近畿環境パートナーシップオフィス）と近畿地方環境事務所が共催します！

地域循環共生圏の創造（環境・社会・経済の統合的課題解決による新しいまちづくり）に向けては、「協働」をさらに前進させ、共に新たな価値をつくり出す「共創」が求められています。本連続セミナーでは、様々な主体から協働事例や先進的取組を紹介いただき、「共創」のヒントを共有します。

自治体、企業、金融機関、NPO、民間団体、大学等でまちづくりや地域の課題解決に取り組まれている皆さまのご参加をお待ちしております。11月に開催する第1回、第2回のセミナーについてご案内申し上げます。

（第3回セミナーは1月27日に開催予定です）

【第1回】新しいまちづくり！「協働」→「共創」のヒント

日時：令和3年11月17日（水） 10：00～12：00

形態：オンライン（CiscoWebex ミーティングを使用）

参加費：無料

定員：100名程度（先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。）

詳細・お申込み情報は下記HPをご確認ください♪

<http://www.kankyokan.jp/info-2021-10-2/>

【第2回】SDGs 未来都市に学ぶ「共創」

日 時：令和3年11月29日（月） 14：00～16：00

形 態：オンライン（CiscoWebex ミーティングを使用）

参加費：無料

定 員：100名程度（先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。）

詳細・お申込み情報は下記 HP をご確認ください♪

<http://www.kankyokan.jp/info-2021-10-4/>

主 催：近畿環境パートナーシップオフィス、環境省近畿地方環境事務所

=====

※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

=====

発行：地域循環共生圏メールマガジン事務局

[touroku@chiikijunkan.jp](mailto:touroku@chiikijunkan.jp)

環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム HP

<http://chiikijunkan.env.go.jp/>

環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム Facebook ページ

<https://www.facebook.com/LocalSDGsplatform.env/>

=====